

みずなみ化石図鑑

野外学習地では、今から1800万年前の化石を採集することができます。図鑑には、主な種類をのせましたが、他にも色々な種類の化石が見つかります。

※アルファベットは学名、カッコは近い現生種の和名を示します。★の数が多くほど見つかりにくい種類です。矢印は種類を特定するときに大切な部分を示します。貝化石の部位・名称は表紙をご覧ください。

ホ 哺乳類化石

陸や海にすんでいた哺乳類の化石も時々見つかります。写真の他にもクジラやアシカ、パレオパラドキシア、シカなどが見つかります。



アロプトックス (下アゴ)
Alloptox japonicus
ナキウサギの祖先。

ミノイルカ (歯)

ミノイルカ (背骨)

サ メ・エイの仲間

サメやエイの仲間は、歯の化石がまれに見つかりますが、1センチ以下の小さなものもあります。地層の表面やわった石を注意深く観察しましょう！



メジロザメの仲間 *Carcharhinus egertoni*

イタチザメの仲間 *Galeocerdo aduncus*

ウシバナトビエイの一種 *Rhinoptera sp.*

大きさは1センチほど。歯冠は細い三角形。コツ:石をわって探す方法もあるが、時々地層の表面に出ている。キラッと光る黒やねずみ色のものはサメの歯の可能性が高い。

メジロザメに似るが、歯冠が「く」の字のように曲がり、のこぎり状の小さな歯(矢印)がある。

2~4センチのぼう状。光沢のある黒色で、片面にはハブラシのようなすじ(矢印)がある。

ウ ロ コ 魚類のウロコ



アカイの一種 *Dasyatis sp.*

ウ ニ カ ニ



オトドゥス・メガロドン *Otodus megalodon*

ハスタリスザメ *Carcharodon hastalis*

ボタンウニの一種 *Echinocyamus sp.*

ミズナミスナモグリ (ハサミ) *Trypaea mizunamiensis*

細長い



イズモノアシタガイ (ユキノアシタガイ) *Cultellus izumoensis*

マテガイの一種 *Solen sp.*

大きさは7~15センチ。イズモノアシタガイとマテガイは似たような形をしている。イズモノアシタガイはずんぐりしており、表面の横肋はふちでは丸く曲がる。一方、マテガイはより細く、表面の横肋はふちでは直角に曲がる。この2点が両者の大きな違い。

巻貝



メイセンタマガイ (タマツメタマガイ) *Euspira meisensis*

ホンゴウムシロガイ (ムシロガイ) *Reticunassa hongoensis*

ミノミクリガイ (ミクリガイ) *Siphonalia minoensis*

ミノアツリア (オウムガイ) *Aturia minoensis*

ヤナギダニヒタチオビガイ (ヒタチオビガイ) *Fulgoraria yanagidaniensis*

トガリフジタバイ (フジタバイ) *Ancistrolepis togariensis*

サガキリガイ (キリガイ) *Turritella sagai*

ミガキツノガイ (ツノガイ) *Laevidentalium sp.*

二枚貝

丸くて小さい



ウソシジミ *Felaniella usta*

アンドウイシカゲガイ (イシカゲガイ) *Clinocardium andoi*



マメエゾハマグリ (エゾハマグリ) *Liocyma minuta*

ミエゲンロクソデガイ (ゲンロクソデガイ) *Saccella miensis*

シモトメチシマガイ (チシマガイ) *Panomya simotomensis*

ワタナベスエモノガイ (スエモノガイ) *Thracia watanabei*

丸くて大きい



ノムラカガミガイ (カガミガイ) *Phacosoma nomurai*

シオガママルフミガイ (マルフミガイ) *Cyclocardia siogamensis*

マキヤマキララ (オオキララガイ) *Acila submirabilis*

シラトリアサリ *Siratoria siratoriensis*

イワムラニシキ (ニシキガイ) *Chlamys iwamuraensis*

ミズナミホタテ (ホタテガイ) *Kotorapecten egregius*

葉っぱと木の実



クヌギの一種 *Quercus sp.*

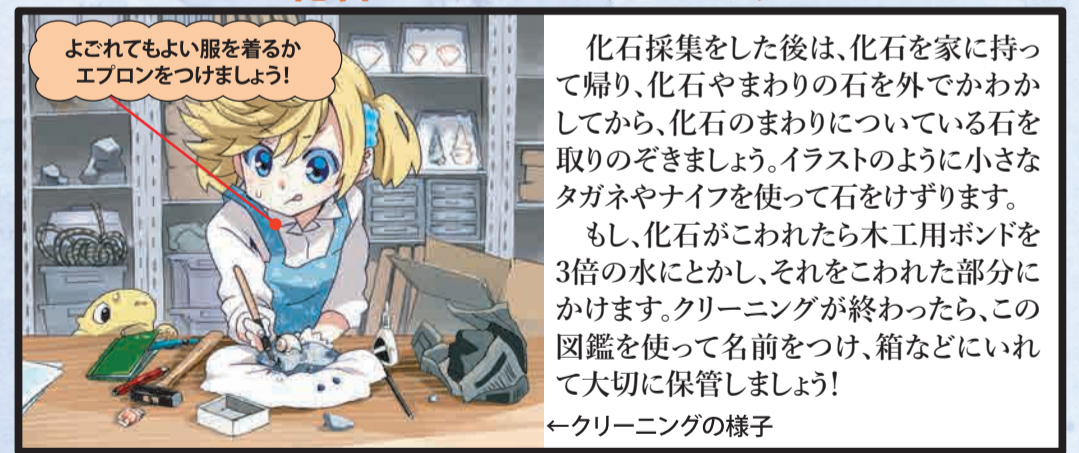
ムカシグリ *Castanea miomollissima*

チュウシンアカマツ (実) *Pinus miocentica*

エゾアブラスギ (実) *Keteleeria ezoana*

フナクイムシの一種とその巣穴 *Teredo sp.*

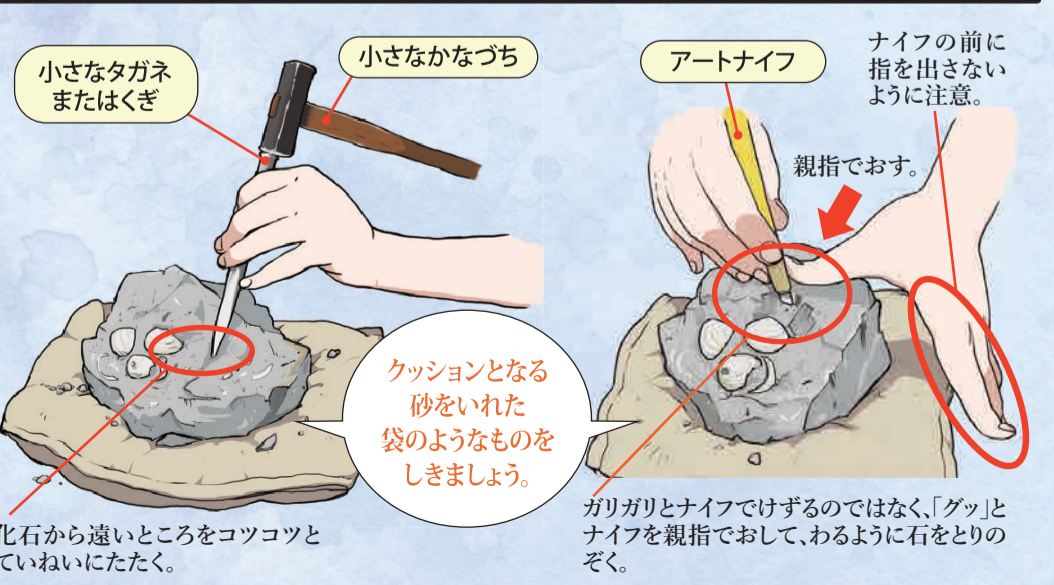
化石のクリーニングをしよう! -化石標本の作り方-



よごれてもよい服を着るかエプロンをつけましょう!

化石採集をした後は、化石を家に持って帰り、化石やまわりの石を外でかわかしてから、化石のまわりについている石を取りのぞきましょう。イラストのように小さなタガネやナイフを使って石をけずります。もし、化石がこわれたら木工用ボンドを3倍の水にとかし、それをこわれた部分にかけます。クリーニングが終わったら、この図鑑を使って名前をつけ、箱などにいれて大切に保管しましょう!

←クリーニングの様子



小さなタガネまたはくぎ

小さなかなづち

アートナイフ

ナイフの前に指を出さないように注意。

クッションとなる砂をいれた袋のようなものをしきましょう。

親指でおす。

ガリガリとナイフでけずるのではなく、「グッ」とナイフを親指でおして、わるように石をとりのぞく。

化石から遠いところをコツコツとていねいにたたく。